

## (単元) Lesson 5 Lost and Wasted

(本時のねらい)

日本の食料損失・食料廃棄の現状や各国の食料廃棄削減の取組について理解する。(知識・理解)そして、グループごとに食料損失・廃棄削減に対する世界の取組について調べるとともに、個人が家庭や地域社会でできることを考え、プレゼンテーションソフトを使って聞き手に分かりやすくまとめて発表する。(思考・判断・表現)

(ICT活用方法)

電子黒板の活用 (①目的②場面③方法)

- ①グループごとに調べた内容や、自分たちに食料問題に対して何ができるのか分かりやすく説明し、英語による発表の理解の一助とする。
- ②全体 (各グループの発表及び質疑応答において)
- ③プレゼンテーションソフトに使用による発表

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法
導入 5分	1. 本時の説明を聞く。 2. プレゼンテーションの練習を行う。	・発表時の注意事項を確認し、グループでプレゼンテーションの練習を行う。 ・発表の仕方、質疑応答の仕方などを助言する。	・プレゼンテーションソフトでスライドを作成し、事前に教師がスライドをチェックしておく。
展開 40分	3. 2グループごとにプレゼンテーションを行う。他のグループのプレゼンテーションを聞き、評価する。	・時間管理を行い、スムーズに活動が行えるように配慮する。 ・発表後の質疑応答の時間に積極的に質疑応答できるように促す。 ・中間評価を行い、生徒に良かった点や改善点等を伝え、次に活かすように指導する。	・プレゼンテーションソフトによる発表を行い、英語でスライドを用いて説明する。
まとめ 5分	・本時の学習を振り返り、自己評価を行う。	・内容や発表について良かった点をクラスで共有し、今後の活動目標を考えさせる。	

(スライド例①) Spanish Food Loss & its solution

(スライド例②) Countermeasures for food waste in Denmark

(授業の様子)



(生徒の反応と課題、改善を要する点)

4技能の育成のために、プレゼンテーションやスピーチ等を授業に取り入れる際は、プレゼンテーションソフトを使用したプレゼンテーション学習を行う方がより实际的で、生徒も理解を深めることができた。プレゼンテーション学習では、生徒のスライド作成の時間を確保することが課題である。また、スライドの内容について教師の点検時間をより多く取り、さらに効果的なスライドを作成させ、高度なプレゼンテーションを目指したい。

ICTの利用により普段の授業の中で板書の時間を削減でき、英会話やリスニングなどに時間を多く割くことができる。今後は、TEDや実際のニュース番組等をスクリーンに映し、難しい英語を生徒が理解するための一助として活用していきたい。